

さみどり



にのみや学園

二宮町立一色小学校 学校だより

令和7年度 第10号 (R8.2.27発行)



図書ボランティアの方々が折り紙などで制作してくださった、ウクライナ民話「てぶくろ」の一場面。2F廊下に賑やかに飾られています。

◎一色小に鬼、出没◎



2月3日(火)「節分の日」の中休み。子どもたちは皆、豆が入った手作りの小さな箱を大事そうに持って廊下で目をキラキラさせています。すると突如、背の高い大きな青鬼や赤鬼、黒鬼たちが「ウォーッ！」と現れました。待っていましたと子どもたちは「鬼は〜外！」と叫びながら豆を投げつけ、逃げる鬼を追いかけるなどワイワイと大騒ぎ。中休み終了の予鈴が鳴ると一斉に落ちた豆を拾い集める姿にもたいへん感心しました。毎年恒例の豆まき大会。今年も無病息災、良い春が一色小に訪れますように。

◎温かいご協力に感謝いたします◎

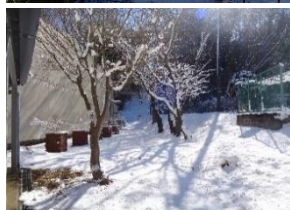
2月9日(月)につきましては、雪による凍結等の対策のために度重なる急な日程変更へご理解とご協力をありがとうございました。多くの保護者や地域の皆様には、雪かきによる通学路の確保や登下校の見守りをしていただきまして、教職員一同、心より感謝しております。お陰様で子どもたちは怪我等をすることもなく、安心して無事に登下校することができました。

また校地内の水道管や給水ポンプは一時、凍結による不具合が生じましたが、地域の設備業者の方に迅速に対応していただき、子どもたちへ大きな支障をきたすことはなく、ほっとしました。



2月9日(月)の朝、前日までの雪が残る中庭。池のほとりには、小さなかわいい雪だるまが作られていました。

積もった雪に子どもたちは大喜び。この日は休み時間無しの特別日課だったので、全学年、急速、雪遊びの時間を設定しました。



◎ようこそ一色小へ◎



毎朝、登校するとまず中庭の池に直行する子どもたち。人気者の鯉たちを眺めることが日課となっているようです。たくさんいた色鮮やかな鯉たちでしたが、昨年の秋ごろから一匹、そしてまた一匹、次々と病気や怪我をしたり、外敵に襲われたりすることが続き、残るは黒い鯉がたったの2匹となってしまいました。多くの子どもたちが「2匹しかないね。」と悲しんでいたのも束の間、はるばる新潟県から10匹の‘鯉の赤ちゃん’が一色小へやってきました。体長5~6cmほどで一目、金魚のように見えます。もう少し大きくなってから中庭の池へ放とうと、今は校舎内の水槽で育てています。池で仲間たちと悠々と泳ぐ姿が今から楽しみです。

◎5年生の野菜づくり◎

稲づくりが大成功だった5年生。その後、校地内の畑スペースに大根、レタス、ブロッコリー、白菜、ほうれん草などを育て、このたび収穫することができました。育てる野菜を決め、種を購入し、責任をもって世話をするなど自主的な活動。素晴らしいです。



◎‘ボサ’で友情の山を元気に◎



5・6年生は1月末に「友情の山の今」をテーマに環境活動家の坂田昌子さんによるご講演を聞きました。生態系の多様性、分断された生態系をつなぎ合わせるのは鳥や虫たちであること、また森での菌類の果たす役割などを学びました。そして6年生は2月3日（火）に友情の山で坂田さんのご指導のもと山の斜面に置いた枝に落ち葉を絡ませながら細い枝を差し込んでいく‘ボサ’を作りました。これにより雨水の流出が留められ、乾燥した斜面に水分が染み込み、樹木の根が菌糸の力により育っていきます。友情の山の恩恵を受けるだけではなく、自分たちの手で山を守ろうと意識を高くもち、行動へつなげていくことがこれからも続きますように。



◎3年生、年表づくりに挑戦◎



社会科でおよそ100年前から現代に至るまでの人々の暮らしの移り変わりについて、洗濯板の体験等も交えて学んだ3年生は、そのまとめとして約1.5×2mの大きな年表を完成させました。11月には6年生が戦国時代、1月末に3年生はこの単元で授業公開をし、毎回、講師として筑波大学附属小学校の由井菌健先生にご指導いただいたり、研修会を設けたりするなど、校内研究として全教職員が日々の授業改善に取り組んでいます。

◎2年生の楽しい想像の世界◎



型紙の位置や色を工夫して作り上げた数々の力作。‘きれいな海で仲良く暮らしている魚’‘リングを反対にしたチューリップ’‘空を飛ぶ瞬間の渡り鳥’‘地球にはない食べ物があるレストラン’など楽しい世界が繰り広げられています。

◎4年生の、とある体育の授業◎



4年生は体育でバスケットボールに続き、サッカーに挑戦。声を掛け合いながら、一生懸命ボールを追っていました。

右の写真は授業終了後にゴールを協力して片付けている微笑ましい一コマです。



◎集中して取り組む1年生◎



静まり返った図工室。まず絵の具セットを定位置に広げ、そしてパレットに絵の具を出す練習。色を混ぜたり、水の量を調節したりしながら真剣な表情で画用紙の果物に色を塗っていました。絵の具の使い方にもだいぶ慣れてきている様子でした。

